

おかげさまで1500万部

2018年3月5日

株式会社 昭文社

祝・明石海峡大橋開通 20 周年 改訂版『ことりっぷ淡路島・鳴門』発売

～きらきらまぶしい緑の島、鮮やかな花畑、古民家を再利用したかわいいカフェ～

株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）は、1998年の明石海峡大橋開通から今年で20周年となることを記念して、人気ガイドブックシリーズ「ことりっぷ」の改訂版『ことりっぷ淡路島・鳴門』を2018年3月23日より発売いたします。



<表紙>



<代表誌面>

■『ことりっぷ淡路島・鳴門』の特長

四季折々に色とりどりのお花畑が楽しめる淡路島。今回改訂の『ことりっぷ淡路島・鳴門』では、

- 「淡路夢舞台」や「あわじ花さじき」などの花スポットを体感できる明石海峡大橋周辺
- 「鳴門のうず潮」や「大鳴門橋」など雄大な海景色を目の当たりにできる南淡路・鳴門周辺
- レトロさんぽが楽しめる洲本、のんびり散策できる海岸線に佇む素朴な港町福良

などを詳しく特集。

新鮮な海の幸やとろけるような淡路牛、フルーツを使用したスイーツなど、自然の恵み豊かな旬の食材に恵まれた淡路島のグルメスポット、カフェも改訂前より増量。淡路島の新たな魅力が見つかります。



<「爽やか気分になれるシーサイドカフェ」>



<「レトロカフェでほっこりタイム」>

【リリースに関する問い合わせ】株式会社 昭文社 広報担当 竹内 渉

TEL03-3556-8271 FAX03-3556-8164

昭文社ホームページ

<http://www.mapple.co.jp/>

■具体的な誌面構成

本書は大きく 5 つの構成にわかれています。

●淡路島のおいしいもの&かわいいもの

淡路島は万葉の時代より「御食国（みけつくに）」と呼ばれた食の宝庫です。著名なタマネギや淡路牛に加え、新鮮な地魚やフルーツなど、おいしい食材にあふれた島ならではの、自然の恵みを活かした料理をご紹介します。

伝統的なお香や、手仕事の温もりを感じる窯元・雑貨屋さんもここで取り上げています。



<「島でいただく朝ごはん」>



<「香りの世界へ」>

●ちょっと気になる淡路島

春夏秋冬、それぞれの季節の花を楽しめる名所がたくさんある淡路島には「国生み伝承」とゆかりのある伊弉諾（いざなぎ）神宮をはじめ、自然や神秘の力を感じられる神社も点在。そんな淡路島らしさいっぱいの気になる見どころを集めました。



<「個性あふれる建物」>



<「パワースポット」>

●淡路島をのんびりおさんぽ

島でいちばん賑やかな街、洲本は、ほのぼのとした商店やすてきな飲食店が軒を連ね、歩くほどに面白い発見があります。港町福良（ふくら）では、ノスタルジックな島風景に出会え、市場の気さくな人々とのふれあいも楽しみです。沼島（ぬしま）までひと足のばすと、更にのどかな空気が味わえます。



<「洲本レトロこみちへ」>



<「市場とマルシェへ」>

●淡路島でお泊まり

種類豊富な海の幸や山の幸を使った料理が自慢の宿や、海を眺めながらのんびり過ごせるホテル。天然温泉やエステ、気軽に楽しめるグランピングなど、好みにピッタリ合うさまざまな宿泊スタイルを提案しています。



＜「ウェスティンで癒しのステイ」＞



＜「グランピング」＞

●鳴門うずしお

「ダイナミック」という言葉がぴったりの鳴門。世界的にも珍しい大きなうず潮に、壮大な眺めの大鳴門橋。鳴門まで足をのぼすと、世界の名画を陶板で再現した大塚国際美術館や鳴門グルメ、個性豊かなカフェも楽しめます。雄大な鳴門の魅力を存分に楽しめる特集です。



＜「鳴門海峡ワンダートリップ」＞



＜「鳴門で行きたい人気カフェ」＞

■『ことりっぷ』について

『ことりっぷ』は、働く女性が週末に行く2泊3日の小さな旅を提案したガイドブックの大人気シリーズです。2008年に創刊以来、旅好きな女性に圧倒的支持をいただいております。2018年3月現在、国内版65点、海外版40点、会話帖9点の計114ラインアップを展開しております。



■商品概要

【商品名】『ことりっぷ淡路島・鳴門』

【体裁・頁数】A5変型判（H180×W148）、本体112頁

【発売日】2018年3月23日

【定価】本体800円+税